

## 「サンガーデン鞍手」開設1周年を迎えて ～入居者のご家族のコメント～

サンガーデン鞍手1周年おめでとうございます。開設にあたり施設長はじめ施設スタッフの皆さん、又入所される方々とその家族は、初めての経験づくめで不安や心配は大変なものだったと思われまます。暗中模索という言葉がありますが、この1年の施設運営は正にその通りだったと思います。幸い、スタッフの皆さんのご尽力に支えられて、1年経った今、多少の波風はあっても入所者一同、無事1年目を迎えられて、家族からは本当にありがとうございましたと感謝しています。これから2年、3年と年を重ねていくたび、家族の方々の不安や心配が増えてくるように思えてなりません。いつまでも入居者自身が施設名のように明るく輝き、心が安らぐ場所であるよう、又、家族の皆さんの不安や心配が和らぐような施設運営へのご努力をよろしくお願い致します。家族会からも、いままで以上の苦言や提案などでサポートしていきたいと思しますので、協力をお願いします。最後に家族会役員の皆さん、毎月の家族役員会に休みなく参加いただき、微力の会長を支えていただいて感謝の念でいっぱいです。なお一層風通しの良い施設運営への架け橋になるように協力していきたいと思しますので、これからもご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。(市村=家族会会長)

\*\*\*\*\*

昨年、高校3年生の7月、卒業を後半年に控えて・・・「卒業式を迎えてからでは?」「何故?」…の周りの声を聞きながらも、高校を中退した太郎(させた母)でした。我が子にあった「一番いい」安心して預けられる「終のすみか」を二十歳までに探す1ことを親の務めと、アンテナを張り巡らせておりました時のサンガーデンとの出会い!親の願いの通りの、夢のような施設との出会いに、中退することに全く迷いはありませんでした。あれから1年。役員としても、一緒に過ぎた1年。長谷川先生の理想の色に染まろう!と頑張っって…右往左往している若いスタッフ!我が子を含めて重度の所員ばかりの扱いに、へとへとに疲れている表情のスタッフ!「大丈夫?本当に大丈夫?」と、ちと不安になったのは私だけではなかったようです。他の家族からの不安の声に対していつも話していたのは、「管理された、もう出来上がった既存の施設なら、着替えがどうの、手紙が届かないがどうの…など細々したことなどピシッとなっているでしょうが、まだ1年経ってないんだから…。ここに決めた理由はそういうことではなく、他にはない素晴らしい理由があるからでしょう?まだ出来たばかりなのだから…」と、自分にも言い聞かせながら。サンガーデンの内側をなかなかうかがい知ることのできない家族、まして初めて子を手放した親などは正直、不安ばかりだったと思います。毎月役員会にて、施設長から内側のお話を聞きするにつけ…安心度数が上がり、不安度数が下がってきています!施設長の描かれた、障害者のための理想の施設…、絵に描いた餅ではなく、本当に実践されていて、その色にスタッフが染まっている(ゴメンナサイ)…!太郎が、ルンルンで生き生きしているのが何よりの証です!本当に有り難うございます!本当に幸せです!さて1年経ちました。これからも今以上に、他所の方々の理想のうらやむ施設となりますよう、素晴らしいサンガーデンの歴史作りに参加させて頂きたいと願っています。(縄田)

\*\*\*\*\*

サンガーデンに入所してもう1年が過ぎ、亮太も親もずいぶん落ち着いてきました。亮太は重度の遅れがあり指示も通りにくくかなり手を取るので、「入所を希望しても受け入れてくれる施設はないのでは」と思っていました。でも本当に運が良く、高等部を卒業して8月にオープンしたサンガーデンに入所できました。1年たって亮太にはいろいろな変化ができました。慣れないところではご飯を食べないので、入所当初は体重がどんどん減っていき、身長が伸びているのに体重が4キロも減りました。誰からもやせたとわれ心配をかけていました。でも、このごろは体重が増え始め、3キロプラスになりました。少しふっくらしてきた亮太を見て、サンガーデンに慣れてきたんだナーと実感しています。また、このごろは「キーッ」という大声を出すこともなくなり、土日はいたずらや散らかしたりはするけど、朝早くからご近所に迷惑をかけることも少なくなってきています。この前の日曜日は、生垣の槇の木伸びているところだけを全部上手に4、5時間かけてハサミできれいに切ってくれて、とても助かりました。(本当に見事に整っていました。)これも、マンツーマンに近い指導のおかげだろうと思います。こらからの成長がとても楽しみです。作業所で亮太は、「カギさん」と呼ばれているようです。今までは、「亮太君」と呼ばれていましたが、二十歳になったことですし、「カギさん」と呼ばれているのを聞いてとても嬉しくなりました。今はまだ若いけど、年をとって白髪になった亮太を想像すると「カギさん」がぴったりだなあと思いました。これからも末永くよろしくをお願いします。(鍵谷)

\*\*\*\*\*

1周年おめでとうございます。こちらへ引っ越してきて1年と4ヶ月。潤をとりまくすべての状況の変化の中で、発作を起こすこともなく、現在に至っていることは嬉しい驚きです。昨年4月、デイサービス通所の際は、朝9時30分に家を出て、午後4時前に帰宅するまで、一度も排尿しなかったり、小さなお弁当を作って持たせても1口も食べずに帰ってきたことがうそのようです。この1年、本人のがんばりはもとよりですが、なによりまず、潤との深い信頼関係を築こうと辛抱強く毎日毎日彼女に接して下さったスタッフの皆様には今でも手を合わせる思いでいっぱいです。あの一日一日の積み重ねがあって今現在があるのです。ありがとうございます。これから保護者も入居者も加齢していきます。いろいろな問題点も少しずつ質を変えて増すことと思いますが、「子どもたちの為」という一点では保護者は強く結びついています。これからもスタッフの皆様、保護者の皆様と一緒に頑張っていこうと決意を新たにしているところです。(江口)

\*\*\*\*\*

光陰矢の如し、あっという間の1年。振り返ると兄にとってサンガーデン鞍手での宿泊は長い年月生きてきた中で、自宅から離れ、他の方々の生活は初めての経験で、どうなることかと危惧しましたが、案ずるより生むが易しで、兄にとってこの1年、宿泊を重ねる度に、サンガーデン鞍手での生活が、将来を考えると、生きがいと活力を生み出す場所となりつつあると確信でき、ほっと安堵しています。これもスタッフの皆様様の弛みない努力と思いやりに支えられてのことと感謝、感謝です。本人はもちろん、保護者の年齢を考えると、どうもサンガーデン鞍手が兄の終の栖となりそうで、楽しく充実した人生を過ごせるよう皆様様の知恵と支えをお借りしながらこの先見守っていきたく願っています。(東嶋)

\*\*\*\*\*

開設1周年、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。施設長をはじめスタッフの方々、ゼロよりの出発であらゆることに大変な努力と気の抜くことのできない仕事、本当に感謝致します。入所するにあたり、口げんかをして母娘でぼつぼつやっていけないのではないかと考えましたが、平成101年2月、クモ膜下で入院して一番気になるのは薫のことでした。下の娘が帰宅するまでの間、近所の方が預かってくれてよく面倒を見てもらったそうです。病床にあって、コロニーのことを考えていました。本当に開設を待っておりました。スタッフの皆さん、今後とも体に気をつけられまして頑張ってください。入居者の悪いところはどんどん叱ってください。よろしく願い申し上げます。(大田)

\*\*\*\*\*

1周年おめでとうございます。振り返りますと、長いようであつという間に過ぎた1年でした。本人の人生の中でも一番不調な時期を受け入れていただき、大変感謝いたしております。週1日から2日、3日と宿泊日数を重ねるうちに、本人もサンガーデンでの過ごし方を自分なりに考えていったように思えます。年間の行事を把握し、多くのスタッフの方との信頼関係も生まれ、今では帰宅したその日にもう行く準備をいそいそとし、宿泊表や献立表を確かめ、「泊まりはいつ？」と毎回楽しみにしている様子が表情からも伺えます。これからも色々な出来事が積み重ねられていくことでしょう。本人にとって楽しく過ごせる場所であってほしいと願っています。ゆたかの里、サンガーデンが今後とも発展して行かれることを期待しております。(柳)

\*\*\*\*\*

養護学校高等部を卒業しても在宅しか方法が見つからず、介護を使っても数回の通所がやっとの毎日でした。ほとんど1日中家の中で一人で過ごす状態となり気の休まることはありませんでした。そこで覚えた言葉が、「お母さん、仕事ばかり…」、新しい言葉に嬉しいやら悲しいやら…。施設長をはじめスタッフの方に本当に心配していただき念願の入所でした。ヘルパーさんとは涙のお別れをして入所生活のスタートです。ひとりぼっちからたくさんの仲間に囲まれての毎日が嬉しくて嬉しくて、週末に迎えに行ってもあちこちにかくれて逃げ回りでこずらせたほどです。いつ死んでもいいなあ〜と心から感謝したことが昨日のこのようです。(大和)

\*\*\*\*\*

巧君、強君、近くに入所できて良かったね。イエイエ、私たち親の方が喜んでいるのかもしれませんが。入所の初めは彼らは「なぜサンガーデンに？」と理解できないまま生活が始まり、彼ら、それにスタッフの方々も大変だったと思います。ペンを取りながら、幼い二人の姿を常に目で追い、毎日が二人との戦争みたいだと嘆いていた妻の言葉を思いだし、体力、気力共に落ちてきた今の私たちにとって入所はホッと息つける一時となっています。早いもので1年が過ぎ、彼らなりのサンガーデンの生活を楽しんでいるようですね。旅行やいろいろなイベント、毎日ドライブや作業等、喜んだり嫌になったり、感情を表現できるようになった様子を見て、入所して本当によかったと思うと同時に、これからもサンガーデン入居者の生活が楽しく送れるよう施設の充実などもみんなと一緒に考え、親として協力していきたいと思っています。やさしいスタ

ッフの皆さん、入居者に負けず頑張ってください。(原口)

\*\*\*\*\*

冷暖房完備の最新施設の入居棟も開設当時は細かった生け垣も繁り、花壇もでき、記念樹も植えられ、内外とも充実してきたサンガーデンが入居者にとってかけがえのない楽園になりつつあると思っています。サンガーデンのスタッフの方々のご指導で入居者の方々が、日毎にサンガーデンの生活パターンに慣れられ、楽しい日々を過ごされている姿を見聞きし、とても喜んでいきます。娘は1年前、他のデイサービスへの通所でその先生方にさんざんご苦労をおかけしていましたが、サンガーデンが開設されると同時に大きな夢をもって入所しました。最初の宿泊訓練日に台風接近のため宿泊が中止になり、それ以来、サンガーデンでの宿泊になじめず、未だに本人だけの宿泊ができない状態です。今では先の長いことと思ひ、あせらずゆっくりとサンガーデンの入居生活に慣れる日の来ることを願っています。(匿名)

\*\*\*\*\*

幸運にも入所定員に空きがあるとのことで、養護学校卒業を待たずに入所して早1年が経ちました。急に生活が変わり、章も戸惑うこともありましたが、慣らしの期間も母娘共々元気よく通所でき、宿泊も思ったよりスムーズに過ごせるようになっていきます。今のところ月曜日にゆたかの里へ行き、金曜日に自宅に帰る習慣がすっかり身についてきました。大好きなショッピングにも連れて行っていただいたり、毎日楽しく過ごしているのも皆様のおかげだと感謝しています。入所前よりも週末の3日間は少し甘やかすすぎかな？と思うくらい親子関係が深くなりスキンシップも多くなりました。これからも章が充実した日々を過ごすことができるように願っています。わがままな娘ですが、どうぞよろしくお願い致します。(佐々木)

\*\*\*\*\*

日頃は何かと弟が大変お世話になりありがとうございます。入居して早1年が経ちます。サンガーデンの生活が楽しくて仕方がないようです。前日からカバンいっぱい詰めて身支度をしています。皆様に良くしていただき感謝しております。これからもよろしくお願い致します。(宮本)

\*\*\*\*\*

サンガーデン鞍手1周年おめでとうございます。早いものでもう1年経ちました。最初の頃を振り返ると俊二が家では食事等腹一杯毎日食べていたのが果たしていろんな面で我慢等やっていけるのかと色々思い悩みましたが、半年、1年を経過するうちに友達ができて、その友達と一緒にいろんな所に遊びに行き楽しんでみたいですね。泊まりが嬉しくて喜んで行っております。時々、家の方に電話し、今日のおかずの話をしてくれます。私たちの声が聞きたかったからとか言って。親である私たちは、何がそんなと思うほどいまだに真意がわかりかねているところです。自分の家でご飯いっぱい食事して、その他のことができるのに俊二はサンガーデンでは自分なりに何かをし生きがいを見つけたように思います。私たちは、最初の頃の不安はなくなり、今まで離れて暮らしたことがなく、どこに行くにも3人でしたので、最初の半年、1年はすごく淋しい思いをしたのですが、今では私たちも慣れ、俊二が金曜日に帰ってくるのが楽しみに変わりました。

これもひとえに皆様方の援助のたまものと深く感謝している次第です。これから色々あると思いますが、よろしく願います。(秋葉)

\*\*\*\*\*

私の仕事が不規則のため、通所では難しいため、また弟も妹も大きくなりお兄ちゃんの面倒を頼めなくなり入所の決断をしました。毎週月曜日の朝に行き、金曜日の夕方帰ってきます。最近では、帰ってくる日を私たちが忘れてしまう日もあるのですが、兄ちゃんを大事に考えて妹も、「これ兄ちゃんの好物」と取ってあげたり、買い物などに出かけるときでも一緒に連れて行くように心がけています。息子も家に帰って来たら我が家が安心するのか、寝床に入るとすぐに寝ついてしまいます。まだ細かいこともいっぱいあるのですが、親も子どももどちらにいても楽しい生活が送れるようになるよう努力したいと思います。(匿名)

\*\*\*\*\*

早いものでサンガーデン鞍手に入所してからもう1年たつんですね。初めは環境が変わるとそのことに対応するのが難しく、いろんな問題行動を起こす子なので、不安でいっぱいのスタートでした。家庭でも、「サンガーデンに行かん」とよく言って困らせ、暴れて抵抗したり、わざと失尿を繰り返したりと、いろんなことが起こりました。たぶんサンガーデンでも大変だったろうと思うのですが、スタッフの方々は、何も言わず、「大丈夫ですよ!」といやな顔もせず温かく見守ってくれたことに本当に感謝しています。今では、施設と家庭とのリズムが取れるようになり、ずいぶん落ち着いて日々の生活を過ごすことができるようになりました。これからも何が起こるか油断はできませんが、みんなの力を借りながら、楽しく過ごす日々が続くことを願っています。そして、いつも笑顔の絶えないサンガーデンにみんなでしていきたいです!(匿名)

\*\*\*\*\*

息子裕之がサンガーデンにお世話になって早1年4ヶ月になりました。裕之の進路については、卒業したら家で父親と農業ができればと漠然と考えていました。しかし、養護学校の先生から、仲間の中で働いたり暮らすことが裕之のためにはよいのではと、サンガーデンを勧められ、説明会での施設の経営方針などをお聞きするにつけ、障害者に対する暖かい心遣いが感じられ、是非我が息子もお世話になれたらと思うようになりました。おかげさまで、裕之なりに居場所を見つけ楽しく生活しているようで、親としては、施設長はじめ支援員の皆様感謝している次第です。自閉症の特徴として、時にはパニックを起こして仲間の皆様や支援員の皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからもどうぞ宜しくお願い致します。裕之は、私たち夫婦が結婚12年目に初めてできた子どもです。農家で本家ということもあり、家族や親戚から待ち望まれていた子でした。あきらめていた子を妊娠したとわかったときは39才という高齢でした。高齢でもあり、医者からかなりリスクが高いことも知らされていましたが、私たち夫婦が、教師、園長という職業からみても、障害を持って生まれてくる確立が高いことを承知で産むことに随分悩みました。でも、私たち夫婦の悩みと裕之の命を救ったのは、助産婦をしていた義母の一言でした。「たとえ、どんな障害を持って生まれてきても授かった子は産まなければ」その言葉に励まされ産む決意をしました。小倉の労災病院でよう水検査をしたり、万全をつくしたつもりでしたが、生まれた子はやはり障害をもっていました。そのことに気がついたのは、彼が1歳6ヶ月の時です。予想していたこととはいえ、ショックでした。それから

というもの、障害を少しでも軽くできればとの思いから、いろいろな治療を試みてきました。大変な20年間でしたが、保育園、学校、病院とすばらしい先生方と友達に恵まれ、裕之が障害を持っていることでいやな思いや悲しい思いをすることもなく育ってきたと思います。また、私たち夫婦にとっても裕之という存在は、どれだけ人間として親として成長させてくれたか計り知れませんが、世間の人たちは大変だとか、不幸だとか思われるかもしれませんが、裕之を産んだからこそ人の痛みが心から理解できるし、夫婦の絆もより強くなることができました。裕之がこの世に生まれてくれたことを感謝し、幸せに思っています。これからは、親も歳をとっていき、いろいろな問題が起こってくるのが予想されますが、施設の皆様や保護者同士、手を取り合って乗り越えていければと考えています。(大場)

\*\*\*\*\*

サンガーデンに入所しまして早1年がたちました。施設が変わりまして、少し不安があったようですが、それもすぐ慣れてきてまして直方駅で待っていても、もう「バスが来るよ」と言って落ち着きません。今でもバスを待っているときは、「もう時間やき来る」と言って向こうの方を首を長くして待っています。バスが来ているのが見えると、「あっバス来た」と言ってさっさとバスの所まで行きます。「お母さん、今度金曜日ね」と言ってバスに乗っていきます。少しは明るい方なのですが、前以上に明るくなったように見えます。帰ってきてまして、「昨日誰とお風呂に入ったね?」と聞きますと、「誰々先生と入った」とか話してくれます。先生方も大変と思いますが、これからもよろしくお願い致します。サンガーデンに入所しまして、少し気持ち的に楽になったのか、体重も少し増えてきています。これからもこれ以上に明るくすくすく伸びていって、みんなと仲良くしてくれることを期待しています。これからもよろしくお願いします。(白坂)

\*\*\*\*\*

サンガーデン鞍手に入所して早くも1年が過ぎました。家から離れての集団生活という初めての体験に本人も最初はナーバスになっていたことと思います。しかし、今では、サンガーデン鞍手の生活を楽しんで見受けられます。私事ではありますが、今年の1月に父が脳内出血という大手術を2回もして、私も父の病院へ毎日通う生活になり、疲れが出たときに、兄がサンガーデン鞍手に入所できたことが本当に良かったと実感しました。これから後も、このようなグループホームがどんどんオープンしていくようになれば、障害を持った子供さんたちの家族に安心を与えられることと思います。(清水)

\*\*\*\*\*

お盆も過ぎ、朝夕は多少過ごしやすくなりました。姉もそちらの方にお世話になってもうじき3ヶ月を迎えようとしています。最初の頃は、色々なことにびっくりしたり、戸惑いを感じたようですが、この頃は、少しは慣れてきたようです。休み明けは嫌がらずに出かけていきますので、私もそちらの方に入所できたことを感謝しています。仕事の都合でなかなか行事には参加することができなく申し訳ないと思っております。これからもいろいろとご面倒をおかけすると思いますが、よろしくお願いします。(中西)